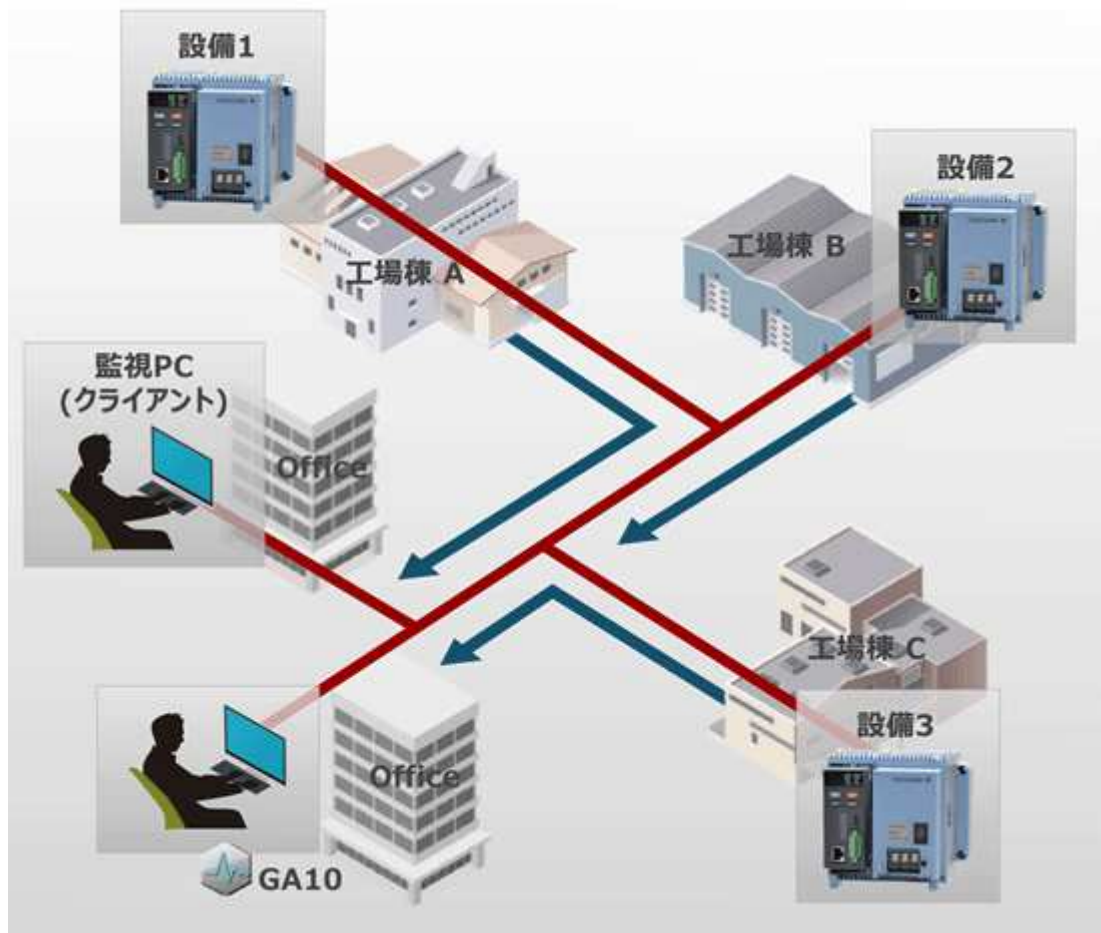


背景

- ✓ 生産効率向上には、操業のムダの発掘から改善の気づきを得、改善活動を継続的に実施していくことが求められます。なかでも、省エネルギー対策は見える、分析する、解決する、のサイクルを絶え間なく回していく必要があります。
- ✓ 地道な消灯活動や、ボイラー、ポンプ、コンプレッサなど個別の原動力設備の省エネルギー対策から始まり、工場全体、企業全体のエネルギー管理 (FEMS) へ。そして将来は、地域全体で省エネルギー対策に取り組むことが持続可能な社会の実現につながります。



お客様の課題

- ✓ 操業のムダの気づきと改善
- ✓ ムダ要因のリアルタイムな特定
- ✓ 職場別・工程別のエネルギー使用目標の定量設定
- ✓ 改善の成果が誰でも、どこでも、いつでも見られる仕組み

ご提案

- ✓ ご予算に合わせて柔軟にエネルギー管理システムをご提案します。

導入のメリット

- ✓ 省エネルギー活動は、第一に現状の把握から始まります。エネルギーを計測しグラフや帳票で可視化することで、エネルギーの無駄や省エネ目標値を検討することが出来ます。
- ✓ 多種多様なエネルギーが存在する工場では、その使用状況を把握することが困難です。電力以外の空調機の温度計測、蒸気などの流量計測を行うことでオフィスから生産現場までのエネルギー消費量の把握をすることが出来ます。
- ✓ 工場の稼働状況に対応したエネルギー消費量も把握することが出来ます。



横河電機株式会社

プロダクト営業センター ソリューション営業部
 TEL 0422-52-5549
 E-mail ccm_contact@ml.jp.yokogawa.com
 〒180-8750 東京都武蔵野市中町2-9-32

記載内容はお断りなく変更することがありますのでご了承ください。
 記載されている製品名は横河電機株式会社および各社の登録商標または商標です。

All Rights Reserved, Copyright © 2017, by Yokogawa Electric Corporation